

内藤幸男と座間の未来を考える会 市政ドリル 第19号

9月議会 特別版

責任感

郷土愛

情熱



座間市の市政を一緒に考えましょう!!

問1

平成27年より2校で先行していた中学校給食(選択式)が本年9月より全中学校でスタートしました。それに伴い改善された取り組みとは？

①給食を洋食か和食か選べるようになった

②申込が2か月前から1か月前に変更された

③センター方式ではなく自校方式になった

問2

複雑化する乳幼児期の予防接種のスケジュールを管理するために平成28年度事業で導入した予防接種モバイルサービスのネーミングは？

①ざまりんの予防接種ガイド

②予防接種こどもカレンダー

③ざまりんのほけんだより

平成28年度一般会計は過去最高の決算額

平成28年度座間市一般会計歳入歳出決算について、歳入歳出決算の規模は、歳入決算総額413億7770万円余りで、対前年度比1.2%の増、歳出決算総額は402億8964万円余りで対前年度比2.2%の増と、過去最高となりました。

この年度の特徴は、実質収支額から実質的な黒字要素や赤字要素を加減した実質単年度収支額がマイナス8億1805万円余りとなったことです。この要因は、少子高齢化により扶助費が年々増加している一方、法人税が大きく減少したことなどがあげられます。

そんな環境下において、本市は、コンビニ、ペイジー収納を推進すると共に、地道な財産調査や滞納処分、不動産公売等を積極的に進めたこと等により、市税全体の収納率を引き上げました。今後も法人税の動向が不安定な中、市民税の安定した回収、そして貴重な財源を無駄なく正しく利用していただけるよう私もしっかりと、チェックしてまいります。

中学校給食(選択式)申込は1か月前に変更

この9月から全中学校で導入された中学校給食(選択式)については、アンケート調査を実施し、市民の皆様の意見をふまえ、これまでの2か月前の申し込みから1か月前の申し込みに変更がされました。さらに専属の栄養士が献立を工夫し栄養バランスのとれた食事がとれるようにも改善がされました。

ママ・パパに嬉しい「ざまりんのほけんだより」 複雑な予防接種のスケジュール管理も安心です

28年度は携帯で予防接種のスケジュール管理ができる「ざまりんのほけんだより」を導入しました。予防接種のメインとなる0歳の登録者数は現在581名で、登録率は61.1%となり、大変好評です！

確かな一歩の積み重ねで座間市の未来へつなぐ。

答え 問1 ②、問2 ③



内藤幸男と座間の未来を考える会

☎090-6107-3467

✉ zama@naito-yukio.com

〒252-0024 座間市入谷4-2891-42

HP



内藤幸男

検索

討議資料

9月定例会一般質問と答弁の主な内容



9月12日の一般質問で空き家対策、寄附金、相模川河川敷水と緑の風広場についての質問をさせていただきました。以下主な質問と答弁の内容になります。

空き家を地域で活かすために

○特定空き家を予防するためには、地域で見守り、地域で空き家を活かしていくことが大切であると考えます。今年度からは、空き家の実情（数、状態、地権者）などをデータベースで管理できる仕組みづくりをはじめたということで大変素晴らしい一歩であると考えますが、このデータベースを市としてはどのように有効活用していくのでしょうか？

市民部長答弁「このデータベースですが、特定の個人情報を除いた、場所、状況を主とした情報を関係部署間で事前に共有、認識することによって、各種照会に迅速に対応できるほか、危険箇所の情報をあらかじめ取得することで、危険回避や防火等の各種予防対策、行政指導等に有効活用できるものと考えております。」

○空き家の管理をシルバー人材センターに任せることで、民間の管理業者にお願いするより所有者が安心感を持てることや、近隣住民から市に寄せられる問題に対して所有者から管理について相談があった場合に、スムーズに依頼できるなどのメリットがあり、全国的に導入する自治体が増えています。本市も座間市シルバー人材センターとの協定締結を検討しているとのことですが、その内容と市独自の取組等あればお示しください。

市民部長答弁「今回シルバー人材センターと締結を予定している協定の内容は、空き家等の現状確認、除草、植木の剪定等について、空き家等の所有者から市に相談があった場合に紹介すること、さらに市の広報にこのサービスを掲載する。本市独自の取組として、近隣住民からの通報等によって所有者に適正管理を促す文書を送付する際にシルバー人材センターの空き家管理に関するパンフレットを同封すること考えている。」

地元のために気軽にできる寄附の仕組みを

○最近では気軽に寄附ができる寄附付き自動販売機などが話題になっています。自販機売り上げの一部が自治体の基金などに寄附される仕組みで、ラッピングなどもオーダーできるので、自販機に使用目的や説明などを明記し、誰でも気軽に目的別に寄附が行えるようになります。例えば寄附付き自動販売機を地域ごとに設置し、「入谷コミュニティづくり自販機」や「座間駅前商店街再整備自販機」といったようにより愛着ある地域のコミュニティ、地域振興のために利用してもらうことや、公園の前に「公園・花と緑いっぱい活用自販機」を置いたり、保育園や幼稚園、学校の近くに「子育て教育活用自販機」を設置することで、より寄附の促進また、PRを図れるのではないかと感じますがご見解をお聞かせください？

企画財政部長答弁「寄附付き自動販売機は、誰でも気軽に社会貢献ができるということで、設置する自治体、企業、団体がふえております。社会貢献活動のほか、寄附文化の醸成について一定の効果があるものと理解をしております。今後公共施設等に設置されている自動販売機の状態等を確認をした上で、例えば自治体の動向などを参考にして、その導入に関しましては調査を研究をしてまいりたいと考えております。」

どうなるの？相模川河川敷水と緑の風広場

○平成28年4月1日に市相互提案型協同事業として市と花を咲かそうボランティアの会によって相模川河川敷水と緑の風広場の花壇に70品種、10万本の西洋水仙が植えられ、市内外から多くの方々が憩を求めて訪れるなど、座間の貴重なとても美しい花壇の一つとなりました。しかしながら、市相互提案型事業の期間は今年3月30日満了になっているとのことですが、当局としては今後、この相模川河川敷水と緑の風広場にある花壇の維持管理をどのようにしていくお考えなのでしょうか？

都市部長答弁「市は平成26年から3年間、花を咲かそうボランティアの会とスイセン花壇づくりの相互提案型協働事業を実施いたしております。また、今後につきましては、団体の皆様の意向にもよりますが、水と緑の風広場の維持管理を引き続き市民協働で行ってまいりたいと考えております。」

○また、パークゴルフ場に関しては平成27年時に、平成28年度の事業として座間市が整備を進めるとしていたとのことですが、現在は座架依橋の耐震工事が遅れていることもあって整備が進んでいない状況であります。橋の耐震工事が終了した後はどのような計画で整備が進む予定なのでしょうか？

都市部長答弁「花を咲かそうボランティアの会、座間市パークゴルフ協会の皆様が、水と緑の風広場で行っているパークゴルフは、両団体が広場の維持管理を行っていただきながら、パークゴルフもできる環境をつくり、その環境を一時的に使用して楽しんでいるものと認識している。市は、その維持管理に必要な資材や道具を可能な範囲でご提供、ご協力することで、パークゴルフができる環境づくりを支援させていただいている。」